

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームの理念である「家庭的な環境と地域住民の交流の下で」を目指し、「地域社会の一員として安心と尊厳のある生活を支援します」をホームの理念とし、地域密着サービスとしての役割を目指した理念を作りあげている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホームに掲示すると共に、職員の名前入れの中にも明示している。また、ご家族に毎月送付するお便りの中にも同封し、共有に努めている。その他、会議時には理念を確認し合い、利用者の安心と尊厳のある生活の支援に向け日々努力している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会や地域運営推進会議で、毎回理念を読み上げてご家族や地域の方達にどのような事業所であるかを確認していただき、将来、認知症になられても地域の一員として安心して生活していただけるよう、スタッフ一同日々努力し取り組んでいる事をお伝えしている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	夏祭りや文化祭等の行事にも近隣の方達に気軽に立ち寄っていただけるよう呼びかけている他、隣近所の方とお話ししながら清掃活動をしたり、町内の親子さん達にカレーをお出ししたり、正月は餅つきに参加していただいている。また、七夕には町内の奥様達が笹飾りをもってきて下さる等、様々な付き合いがある。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	校区の夏祭りや運動会、文化祭に参加している他、ホームにも近くの園児達が敬老会や普段でも遊びに来て、屋上にある菜園と一緒に芋ほりや豆や大根を収穫する等交流を深めている。また、ホームの夏祭りや文化祭、どんたく等の行事にも地域の方達に沢山参加していただいている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>安全第一で家族の了解を得ているとはいえ、2階以外へは1人でどこへも自由に行けない住環境での生活が、心身に及ぼす影響を利用者の立場に立って考えていきたい。行きたい場所のご要望があった際は、マンツーマンでも時間をみつけて行く努力をしている。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>毎月の運営推進会議等で話した事は、職員がより理解できるように継続して努めていきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>今後、カンファレンスで高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、日頃のケアについて職員に見直してもらう機会をもちたい。また、ゆとりをもって介護できるような職場の雰囲気を作り、疲れが溜まらないような勤務表を作成する事、職員が管理者や介護リーダーに相談し易い体制をとる等努めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を結ぶ前のホーム見学の時に十分な説明を行い、不安や疑問点を尋ねたりと、適したホームかどうかを十分にご検討いただいた上で、契約をしていただいている。また、その際は、重要事項や重度化した場合の対応指針についての説明を必ずしている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者が毎日全員のご入居者に話し掛け、声を聞くようにしている。ご入居者の意見として出た事は、運営に反映できるよう管理者会議等でお伝えし検討していただいている。</p>	<p>○</p> <p>地域運営推進会議にご入居者にも出席していただいていたが、殆ど意見が出なく、最近のご家族の要望もあり、出席していただけていない。今後、ご入居者に出席したいという要望があれば、また出でいただけるよう検討したい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、ご家族の元に写真入りのお便りを送付している。内容は、健康状態や行事予定、一人一人の様子を担当者が記入し、表情豊かな写真を添えている。また、ご家族面会時に近況報告を行う他、変化があった時は電話連絡を行っている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入口カウンターに苦情ボックスを設置すると共に、面会時に積極的に話しかけ、ご意見やご要望を聴くようにしている。また、重要事項説明書の中にも公的機関の苦情連絡先を明記している。その他、年に2回開催される家族会でご意見やご要望を出していただき、いただいた意見は施設長や職員間で協議し、改善に向けて積極的に取り組んでいる。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1度の運営会議等で、職員一人一人に運営に関する意見を発言する機会を設けている。また、管理者会議等に反映させ、決定された事項は回覧等により全員に周知してもらっている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事や受診のある日は、通常より多い職員体制にしている。また、ご家族が面会に来やすい土日は、状況報告が直接し易いよう管理者あるいは介護主任が勤務しているようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの職員が対応していくことが基本と捉え、現場の職員で資格のある者を管理者に任命するなど、利用者の不安を最小限に止めるよう配慮している。また、お互いのユニットを行き来し、全職員がなじめるようにしている他、2つのユニットが共同でレクリエーションや行事を行い、職員が顔なじみになって異動の際もダメージを最小限に抑える配慮をしている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の採用については、年齢や性別で対象から排除することはしていない。職員は生き生きと勤務しており、事業所内外の勤務にも積極的に参加できるように支援している。休暇もとりやすく、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されている。</p>		
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>法人代表者や管理者は年に一度、市民センターで開催される人権学習に参加している。具体的な接し方等学んできた事は、資料を配布し全職員に周知してもらうよう努めている。また、スタッフの人権意識を喚起する意味において、行政等で開催される講習に参加してもらうよう働きかけている。</p>		
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修にも職員が交代で参加できるようにしている。全職員が積極的に研修に参加し、レベルアップを目指すよう指導している。 新人職員については3か月に渡って自己評価をしてもらい、レベルアップにつなげている。</p>		
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入し、勉強会にも積極的に参加している。また、お互いの事業所の行事にも参加して情報交換をし、レベルアップを目指している。</p>		
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>行事の後に施設全体で打ち上げを行ったり、スタッフに悩みがないかなどを聞き出すことで、ストレス解消につなげている。また、きつそうな表情をしているスタッフには声を掛け話をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	年に2度の家族会や2カ月に1度の地域運営推進会議にご家族に来所していただき、一緒に会話をしながら食事を摂る事で状態、状況を理解していただけるように努めている。また、気軽に来所していただける空間作りに努め、外出レクのお誘いもしている。		
31 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	病院受診の際等でご家族に来所していただいた際は、必ず近況報告をして昔の様子等のお話をお伺いする事で、本人と家族との関係の理解に努めている。また、あまり来られていないご家族に連絡をとり、外出レクのお誘いを行い、本人と家族との関係が築ける工夫を行っている。		
32 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や、親戚の方が尋ねて来易い雰囲気作りを工夫し、いつでも尋ねて頂ける体勢をとっている。	○	今のところは、なじみの場所などに行きたいという希望は無いが、これから希望される事があればお応えし、お連れしていきたい。
33 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の相性等の関係を把握し、安心して暮らしていただけるように食事席等の考慮も行い支援している。ご入居者同士が口論になった際は、両者が落ち着くよう別の場所へ誘導する等している。また、畑作りや収穫、日々のお手伝い等も入居者同士が力を合わせてできるように支援している。		
34 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用終了後でもご不明な点など何かあった際は、気軽にホームに来所して頂いたり、お電話していただけるよう、関係作りを心がけている。行事などに、気軽に来所して頂けるお声をかけている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の介護の中で、利用者の思いや願いを引き出せるよう取り組んでいる。音楽のお好きな方や、野球観戦のお好きな方など、ご家族ともに、少人数で音楽会や、野球観戦などにお連れしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
37	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
40	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>定期的または随時、民生委員やボランティアの方に来ていただき避難の仕方などの指導や指示を受けている。また、すぐ近所に消防署や警察署がある為、何かあった際は協力してもらいやすい。また、地域の図書館を利用して紙芝居等を借りてきたり、地域の公園などで、近隣の園児などと、一緒に過ごさせて頂いている。</p>	
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>地域包括支援センターのケアマネジャー等と情報交換を行い、より良いサービスが行えるよう訪問マッサージや、訪問看護等のサービスケアに取り組んでいる。</p>	
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターのケアマネジャーや社会福祉士等に法的なことについて相談し、専門的な情報交換を行い安心して長くご利用していただけるように支援している。</p>	
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族確認のうえ事業所の協力提携医との提供を結び、また馴染みの懸かり付け医病院にも継続して医療機関と連絡をとり、本人や家族が安心して医療を受けられるよう支援している。</p>	
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症専門医に協力して頂いている。また、月に2度の割合で定期的に認知症に詳しい医師の往診が受けられるようになってきている。また、職員がいつでも医師に電話で報告や相談ができる体制をとっている。</p>	
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護職員を配置しており、いつでも相談できる体制をとっている。また、日常の健康管理や緊急時は必要に応じて医療を活用している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>〇入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
60	<p>〇安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>〇役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
62	<p>〇お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
63	<p>〇日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
64	<p>〇普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	状態をみながら文字を書く練習を促したり、電話をしたいというご希望の際は、かける支援をしている。頻繁に電話をかけたいというご要望で、携帯を居室内に持参されている方もいらっしゃる。また、習字のレクもとり入れて、文字を忘れず自信につながるよう作品はリビングや居室に掲示している。		
66 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	8時から20時までなじみの方達が気軽に面会に来れるようにしている。訪問時は居心地良く過ごせるような雰囲気を作っている。(来易い雰囲気、歓迎、関係再構築の支援、湯茶の自由利用等) また、家族の訪問時には、居室やリビング、屋上等思い思いの場所でゆったりと過ごしていただけるよう声をかけている。		
(4)安心と安全を支える支援			
67 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホームの玄関に、「スタッフ一同が身体拘束ゼロを目指して実施しているホームです」と、身体拘束排除宣言を掲げている。具体的には、ベットのサイドレールをできるだけ外したり、椅子や机等で身体拘束しないよう付添いや見守りを強化している。	○	新人職員に対して具体的な身体拘束防止の取り組みの研修を行い、理解を深めてもらっている。
68 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守りができる体制の時は、玄関以外のドアは鍵をかけないようにしている。また、居室は常に鍵をかけず出入りができる。ユニット間は自由に行き来できるよう環境を整えている。	○	周辺は車の交通量が多い為危険であり、家族会や運営推進会議などに取り上げ検討したが、鍵がかかっている方が安心というご家族がほとんどで、現在センサーを付ける案等があり、一時的にでも、開錠できよう工夫検討中である。
69 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室へ用があつて訪室する際は、その都度お断りをしている。また、自由に気兼ねなく行動していただけるように入居者によっては遠くから見守りを行うこともある。常に安全に配慮している為、転倒等のリスクがないようフロアを離れる際は、スタッフと声を掛けあっている。		
70 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬は事務室内の施錠が可能な場所に保管し、洗剤は脱衣所の上の棚に施錠して保管している他、刃物はシンクの下の中箱の中に保管するなど、保管及び管理方法を明確にし、一人ひとりの状態に応じて危険を予測して回避できるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	カンファレンスで各ご入居者のリスクを把握し、話し合っている。また、スタッフが教えて欲しい事があれば随時看護師等が講習会を定期的に行い、吸引器の取扱い等全員が同じように対応できるよう努めている。		
72 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全ての職員が定期的に行われている普通救命講習に積極的に行き技術を磨くようお話ししている。また、応急手当についてもカンファレンスで看護師に講習を依頼し、実施している。		
73 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	設備の保守点検業者と委託契約を結んでおり、スタッフは業者を交えた施設全体及びホームの夜勤帯を想定した非難訓練やシュミレーションを通じ、避難誘導法等を熟知している。また、地域運営推進会議でも議題にあげて、避難できる施設、学校等の場所説明をしていただいている。		
74 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族へご入居時やケアプラン説明時に、起こりうるリスクに対し説明を行い、了承をえている。また、ホーム内を自由に行動していただけるよう、遠くからでも出来る限りの見守りを行い、安全に配慮している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝定時、随時にバイタルチェックを行い、日々の生活の中でも体調の変化を見逃さず、普段と違う状態の時はすぐに看護師や医師に連絡、相談をしている。体調に急変、異変があった際は、緊急カンファレンスを行う等により、ケア内容を検討し実施している。小さな変化でも連絡ノートに記載する等して、より良い対応法を皆で検討し行えるようにしている。		
76 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を個人毎のファイルに綴り、変更点等は薬の説明書の欄外と申し送りノートに記載し、周知と把握がなされている。看護師や遅出が薬を仕分けしてチェックをし、夜勤者が再チェックをする。更に、服薬前はスタッフ同士声を掛け合い、誤薬のミスがないように努めている。薬による症状に変化があった際は、詳細を介護記録に記入し、他のスタッフにもわかるよう伝達を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>便秘にならないよう、各ご入居者が好まれるもので水分補給を行う他、食物繊維が豊富な食材等を用いて調理をしている。また、できるだけ日中離床していただき体を動かせるよう、朝は体操、夕方は全員のご入居者を散歩(階段昇降等)にお連れしている。</p>	
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎夕食後、丁寧な口腔ケアが行えるよう見守りや状態に応じた支援を行っている。毎朝食後、毎昼食後も殆どの方が口腔ケアを行えるよう声を掛け、誘導している。また、全員のご入居者が毎週、往診歯科の口腔ケアを受けており、治療の必要なご入居者は治療を受けることができる。</p>	
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>その方に合った状態や力に応じ、キザミ食にしたり、トロミを付けるなどの工夫をし、習慣に応じた支援をしている。また管理栄養士に調理を月に1度見てもらいカロリーバランスや、形状など確認してもらっている。食事量や水分量についても毎回チェックを行い、随時必要量が摂取できるように入居者の状態に応じて工夫し配慮している。</p>	
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>布巾類の熱湯消毒、食器類の熱風消毒、次亜塩素酸やアルコールでの物品の消毒等を徹底して行っている。また、感染症マニュアルを準備し、職員はマニュアルの内容に従って実行している。</p>	
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>台所、調理用具等は、1日1回はハイターやアルタイザー等で消毒を行い、特に夏場等はできるだけ食べる直前にご飯を提供するように配慮している。また、常に賞味期限を確認し、できるだけその日に購入した新鮮な食材を用いて調理を行うようにしている。また、食事の前は手洗い、手指消毒を徹底している。</p>	
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>1階にはデイスアービスの事業所があり地域に開けていたり、玄関や建物周辺には季節の花を植える等親しみ易くしており、ご家族に気軽に来所していただけるよう駐車場も設けている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに調整を行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

地域との交流を深め、地域力を大いに深めている。どんたく隊に来て頂いたり、地域清掃や校区夏祭り、文化祭などに参加させて頂き、施設でも町内の方と合同で餅つきを行ったり、夏祭りに参加協力をして頂いたりしている。また、近隣の保育園児と共同で畑作りをし、今年は芋を植え、一緒に観察し収穫まで行った。 幼稚園から施設と一緒にレクリエーションを時折するようになり、幼稚園の運動会にも参加させていただいたり、楽しい生活が送れるよう工夫している。ご家族がいつでも気軽に来所できる環境作りを行い、入居者を中心にご家族やスタッフが一つの輪になりより良い関係ができるよう力を入れて取り組んでいる。